

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	し尿処理事務に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	4	2	2	
政策	22快適な暮らしの環境をつくれます	担当課室	クリーン推進課			
施策	225環境衛生の充実	担当課室長	中川 聡			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	単独浄化槽及び汲取りから合併浄化槽への転換を促進するため、補助制度の周知PRを図る。	③平成29年度に取組む改革・改善内容	合併浄化槽設置補助制度について周知PRを図る。また、し尿処理手数料の徴収率が低下傾向であるため、その向上のため、催告等の強化を行う。
②①に基づく取組み結果	補助金を利用した合併処理浄化槽設置基数が、目標の20基に達した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	①汲取り便槽を使用している市民等②下水道事業認可区域を除く市域に合併浄化槽を設置しようとする方	意図(対象をどうするのか)	①し尿による水質汚濁の防止及び生活環境補の保全 ②家庭から出る生活雑排水の水質汚濁物質の軽減
②事務事業の概要	し尿収集運搬及びし尿処理手数料徴収を行う。また水質汚濁を防止するため合併浄化槽の設置を補助する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	長期的には、公共下水道の整備により汲取り世帯及び単独浄化槽世帯の減少が見込まれる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	合併処理浄化槽を新たに設置するものに、設置費の一部について補助を行った。(20件)						
②成果を表す指標	指標名称		平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	算定根拠
	i	し尿収集・運搬率	100	100	100	%	業務取得
	ii	し尿処理手数料徴収率	98	97.8	97.6	%	業務取得
	iii	補助金利用設置合併浄化槽基数	18	18	20	基	業務取得
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算		
事業費(千円)	92,972	94,218	金額(千円)	内容	94,848		
国支出金(千円)	2,311	3,074	12,370	合併浄化槽設置	3,074		
県支出金(千円)	4,166	6,470			4,754		
市債その他(千円)	15,038	14,128			13,340		
一般財源(千円)	71,457	70,546			73,680		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	汲取り及び単独浄化槽から合併浄化槽への転換の件数が伸び悩んでいる。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	合併浄化槽設置補助事業は効果的な補助制度とするため、精査検証を行っている。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	平成28年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H27からの繰越
		H27→28繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由	0		流用・充当		
	平成29年度への繰越額(単位:千円)				

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合に要する経費(し尿処理等)	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	4	2	2	
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	クリーン推進課			
施策	225環境衛生の充実	担当課室長	中川 聡			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	アクアセンターあじさいの効果的な修繕計画について環境衛生組合とともに検討する。	③平成29年度に取り組む改革・改善内容	アクアセンターあじさいの修繕計画について、環境衛生組合及び構成市との調査協議を引き続き行っていく。
②①に基づく取り組み結果	修繕計画に係る手法及び費用について、環境衛生組合が資料を作成し、構成市とともに検討した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	①公共下水道を使用していない方 ②柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合	意図(対象をどうするのか)	し尿及び浄化槽汚泥の適正処理
②事務事業の概要	構成団体(柏市沼南地区・白井市・鎌ヶ谷市)の地区内で排出されたし尿、浄化槽汚泥を適正処理するために建設された施設の建設費償還金及び施設維持管理等の経費を負担する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	今後、施設の老朽化による維持管理費の増加が見込まれる。長期的には、公共下水道供用開始区域の拡大により処理量の減少が見込まれるが、災害時の対応において位置づけの再評価が必要とされる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	し尿処理費用及び、処理施設建設費償還金に係る負担金を支出した。				
②成果を表す指標	指標名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	算定根拠
	i 処理率	100	100	100	% 業務取得
	ii				
	iii				
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算
事業費(千円)	194,902	186,982	金額(千円)	内容	179,884
国支出金(千円)			40,201	管理費	
県支出金(千円)			143,781	し尿処理費	
市債その他(千円)					
一般財源(千円)	194,902	186,982			179,884

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	施設の老朽化による維持管理費の増加が見込まれる。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	脱水汚泥焼却炉等、各設備の老朽化が進んでいるため、必要な修繕計画を検討していく。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	平成28年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H27からの繰越
		H27⇒28繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由	流用・充当				
	平成29年度への繰越額(単位:千円)				

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	狂犬病予防等に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	4	1	1	
政策	22快適な暮らしの環境をつくれます	担当課室	環境課			
施策	225環境衛生の充実	担当課室長	斉藤 薫			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	狂犬病予防注射の接種率を上げるため、未接種犬の飼い主に対して、ハガキによる督促等を実施する。	③平成29年度に取り組む改革・改善内容	狂犬病予防注射の接種率を上げるために、未接種犬の飼い主に対して、督促等を行う。
②①に基づく取り組み結果	登録数 5,677頭(H29.3.31現在) 注射済証発行枚数4,158頭(H29.3.31現在) 接種率73.24%(申請数:市把握分のみ) 実接種率77.86%		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内畜犬	意図(対象をどうするのか)	狂犬病の発生を予防し、その蔓延の防止及び撲滅をする
②事務事業の概要	毎年4月に獣医師会と協力して市内各所で集団登録と狂犬病予防注射を行っており、集団登録及び予防注射を行えなかった場合には、動物病院で予防注射を行った後に、窓口で鑑札等の交付を行っている。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	狂犬病予防法により、犬の登録及び狂犬病予防注射の接種が義務付けられているほか、動物の愛護及び管理に関する法律の改正により、動物の個体識別措置(マイクロチップ)普及促進が決定している。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	別添のとおり				
②成果を表す指標	指標名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	算定根拠
	i 畜犬登録数に対する予防注射	74	73	73	% 業務取得
	ii				
iii					
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算
事業費(千円)	2,866	2,966	金額(千円)	内容	5,683
国支出金(千円)			1,901	非常勤職員賃金	
県支出金(千円)			361	印刷製本費	
市債その他(千円)			80	鑑札等作製委託	
一般財源(千円)	2,866	2,966	17	畜犬登録促進指	5,683

IV 評価・検討

①課題	予防接種保留犬と生存不明犬の取り扱い(実態)について、再考する必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	法令により、義務付けられており、今後も継続していく必要がある。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	平成28年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H27からの繰越
		H27⇒28繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由	流用・充当				
	平成29年度への繰越額(単位:千円)				

狂犬病予防に要する経費

[事業の成果]

(単位：頭)

年度	予防注射実施状況		新規登録頭数	合計登録頭数
平成24年度	集合	1,862	367	5,813
	一般	2,502		
平成25年度	集合	1,678	374	5,860
	一般	2,643		
平成26年度	集合	1,707	328	5,818
	一般	2,572		
平成27年度	集合	1,465	326	5,723
	一般	2,741		
平成28年度	集合	1,438	346	5,677
	一般	2,720		

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	第2斎場建設事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	4	1	3	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくれます	担当課室	環境課			
施策	225環境衛生の充実	担当課室長	斉藤 薫			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	新規事業のため、前回の評価なし。	③平成29年度に取り組む改革・改善内容	既存建物の解体工事を完了し、新築工事を着工する。
②①に基づく取り組み結果	新規事業のため、なし。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	四市複合事務組合(船橋、習志野、八千代、鎌ヶ谷)	意図(対象をどうするのか)	社会慣習、公衆衛生、その他公共の福祉の観点から支障なく行われる
②事務事業の概要	四市複合事務組合(船橋市・習志野市・八千代市・鎌ヶ谷市)が建設する第2斎場整備に必要な経費の負担を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	高齢人口の増加に伴い火葬件数が増加しており、既設の馬込斎場の拡充、増設の余地がなく火葬能力の限界に近づいている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	四市複合事務組合による第2斎場建設費に係る負担金を支出した。(主な事業:建設予定地を習志野市から取得(習志野市茜浜)。既存施設の解体工事発注。)					
②成果を表す指標	指標名称		平成26年度	平成27年度	平成28年度	算定根拠
	i	馬込斎場利用率	93.5	93	95	% 業務取得
	ii					
iii						
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算	
事業費(千円)	0	106146	金額(千円)	内容	45829	
国支出金(千円)						
県支出金(千円)						
市債その他(千円)						
一般財源(千円)		106146	106146	負担金	45829	

IV 評価・検討

①課題	高齢人口の増加に伴い、馬込斎場の火葬能力が限界に達することが予測されるため、第2斎場の建設が急務となっている。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	第2斎場建設の進捗により事業の精査・検証を行っていく必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	負担金の支出	平成28年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	負担金の支出	106146	106146	当初	62602	106146	H27からの繰越	0
				H27⇒28繰越				
③達成状況	完了			補正	43544		現年分	106146
④未完了・非着手の理由				流用・充当				
		平成29年度への繰越額(単位:千円)		0				